

持続可能な京都観光を目指す共同声明

あらゆる業界に深刻な打撃を与えてきたコロナ禍。私たち観光業界に携わる者は、感染症予防対策はもちろん、市民・観光客双方にとって安心安全な環境整備に努めてまいりました。コロナ禍を通して観光が私たちの業界に与える影響の大きさを改めて認識するとともに、その脆さをも痛感しました。

本年5月、感染法上の位置付けが変わり、ようやく人々が自由に移動し経済活動が正常化に向かう中、国内はもとより、海外からも観光客が戻りつつあります。

そのような中、観光客が一部の地域や時間帯へ集中することなどにより、混雑やマナー問題などの観光課題が発生している現状があります。私たちは、京都において観光客をお迎えする責任ある事業者として、地域に配慮し、貢献するとともに、観光客に対して地域の暮らしや慣習を尊重し、自然やまちなみ、環境に配慮するといった観光スタイルを呼び掛けるなど、京都観光モラルを普及・実践し、観光課題に対して真摯に取り組んでまいります。先般、国におかれてもこうした課題に向き合う対策を打ち出されており、非常に心強く感じています。

京都はどこに行ってもいつも混雑しているかのように報道されがちですが、決してそうではありません。悠久の歴史と山紫水明の自然に育まれた、多様で奥深い魅力を有する京都には、静かで快適に過ごせる場所が数多く存在しています。京都の穴場スポット情報や、ビッグデータを活用した混雑予測、リアルタイムの混雑状況を確認できるウェブサイトも整備され、観光客にはそうしたツールも活用いただき、混雑する場所や時間帯を避けて、静かで落ち着いた京都をお楽しみいただきたいと考えています。

ところで、近年、「観光公害」という表現が使われることがあります。観光は、人々の心や人生の豊かさを高めるとともに、京都のまちの発展を支え、暮らしを豊かにするものです。また、世界に目を向けると、分断や対立構造がまん延する昨今、観光は国内外の人々との交流によって相互理解の促進につながり、世界平和に大きく貢献するものです。そして、観光は、京都の幅広い産業につながっており、そこには多くの市民の皆様や市内の事業者が携わっています。

「公害」という表現は、観光業で働く人々の気持ちや業界全体のイメージを傷付けるものと危惧しております。また、お迎えする観光客に、自分たちが「公害」の原因であるかのような印象をもたらすことも、私たちは望みません。

令和3年11月に私たちが京都市と共に宣言したとおり、京都観光の根幹は「市民の暮らしの豊かさの向上」にあります。市民生活と観光の調和を図り、観光の力を活かして、地域や社会の課題を解決し、暮らしや地域の豊かさにつなげていく「持続可能な京都観光」を目指すことが、私たちの使命です。

観光に関わるすべての人がお互いを尊重し、より良い関係を築けるよう、世界が憧れる京都の事業者として誇りを持って皆様と共に「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」のまちづくりに役割を果たしてまいります。

令和5年11月17日

京都市観光協会
京都文化交流コンベンションビューロー
京都観光施設協議会
京都観光土産小売商連盟

京都観光旅館連盟
京都国際観光レストラン協会
京都個人タクシー団体協議会
京都商工会議所
京都商店連盟
京都府タクシー協会
京都物産出品協会
京都府バス協会
京都府物産協会
京都府料理飲食業組合連合会
京都府料理生活衛生同業組合
京都府旅館ホテル生活衛生同業組合
京都府旅行業協同組合
京都名産品協同組合
京都料理組合
京都料理芽生会
日本ホテル協会京滋奈支部
日本料理アカデミー
日本旅館協会京都府支部